あっ！あぶない！車が走ってくる

子どもの事故防止を重点

六日から春の交通安全運動

「いってまいりまーす…」ついこの間までお母さんの腰にまつわりついていた子どもが、新しいランドセルを背負って学校へ出かけます。とかく過保護になりがちだったお母さんも、子どもが一人で元気よく家を出るようになるとこんどは学校の行き帰りが心配です。

ことしも六日から十五日まで「春の交通安全運動」が実施されます。今回は歩行者事故、とくに新入学児童、園児それに幼児の事故を防ぐことに重点を置いています。

日本人の平均余命がいくら延びても、交通事故で亡くなる人の数は毎年記録を更新しています。中でも子どもの交通事故は悲惨です。相手が暴走者なら避けられませんが、普通に道路を歩いていて事故にあうことはめったにありません。どこかに無理があるからです。

これから春の交通安全運動が始まりますが、運動期間中だけでなくどうしたら交通の安全が確保されるかについて"ずばり一言"次のかたがたから提言をいただきました。

本町2丁目
山田誠之進

ら、べ昨今の車両、マンモス交通量は、ご承知のとおりです。

警察の交通課、市の交対協安全協会が一対になって安全運動を推進しても、それぞれのドライバーが交通ルールやマナーを守らなければ、事故をなくすることはできないと思います。

安全確保を習慣に

交通事故は恐ろしい

車が多いことが目立ちます。とくに"市"の日などは、なおさらのことである。無事故の新津市にするためにも、一

第一小5年
渡辺正司

交通安全について一番大切なことは、だれもがわかっている標識を守ることです。それが実行されていないから事故が起こる。その例としても市内中心部である本町通りは駐車禁止であるにもかかわらず、あまりにも駐車している方通行の道路を多くつくることであると私は思います。

事故撲滅に一方 通行道路を多く

大関
土田ミヨ

前後左右確認は 無意識ではダメ

安全はみんなの願いであり事故の恐ろしさはみんな知っています。しかし、事故はあなたをたちません。みんな自分本位に判断して、行動を起こすからではないでしょうか。運転者も歩行者も、今一度安全について考えましょう。道交法を完全に守り、交通マナーを身につけて、前後左右の確かめかたについても無意識であってはなりません。しっかりした確かめかたを身につけるよう努力し、これを習慣づけることが無事故につながるものと思います。

交通ルールやマナーを守ること

私は、昭和九年ころから自動車に乗っており、いろいろな事故経験にそう遇してきました。当時は、交通事故も少なく、あれは子どものいたずら事件程度でした。それにくらべ昨今の車両、マンモス交通量は、ご承知のとおりです。

警察の交通課、市の交対協安全協会が一対になって安全運動を推進しても、それぞれのドライバーが交通ルールやマナーを守らなければ、事故をなくすることはできないと思います。

考えてほしい 自転車交通

第5中3年
高崎葉子

近ごろの"自転車交通"については、まったく一言いいたくなります。先日もこんなことがありました。暗くなった道を家へ急いでいると、突然自転車にぶつかりそうになりました。ライトもつけずに右側を走ってくるのですからたまったものじゃありません

入校生募集
昼間部・夜間部
公認 新津自動車学校
新津市山谷町2丁目 TEL(2)-1192
通学にはマイクロバスをご利用ください

フレッシュマンにガッツなスーツ!!
DURBAN Koyo Dog
Mi Mi TEL 2—6857
本町2丁目 DURBAN いつちだ TEL 2—0648

市長雑感 ㉒

先日、中学校の卒業式に出席させていただいたが、十年ひと昔というが時の流れは本当に早い。私が県議生活に入ったのが昭和三十年、ことし中学を卒業する生徒は三十一、三十二年生まれだから、もうあれから十六・七年が経過している。当時生まれた子どもたちがこんなにも立派に成長して卒業する姿を、まの

今も変わらぬ卒業式の感懐

光景、これは私どもの時代にはなかったこと。このように一人一人に手渡すことで「卒業」という実感もずいぶん違うことだろうし、社会に巣立ち、また進学する生徒の自覚も大きいと思われる。

ほたるのひかりなどが合唱されるころになると妙にしめっぽくなることは私どもも同じだったが、ジーンと熱いものがこみあげてきてどうしようもなかったことを思い出す。ここでも同じ場面にお会いしたが、涙でグシャグシャになった顔も本当に生き生きなく過ぎていく、ひとつの目標をしっかり立てて一歩一歩それにむかって努力することが最も必要になってくる。

「一寸の光陰軽んずべからず」という言葉もある。気がついたら白髪の老人であっては大変だろう。悔いのない人生を立派に歩んでほしい。

先週の日曜日NHKテレビで「現代の青年像」と題する特集番組みをみたが、その中にある若者が「テレビのマンガはみるが新聞は読まない。」「政治が悪い」「社会は無じゅんだらけだ」とか発言をしておったが、社会を構成する一員としていまの若者は政治とか社会に対し強い不信感を抱きながらも、それを自ら積極的に解決しようとする気力がない。いわゆる無気力な小市民的考えが支配している。かつての滅私奉公の精神も「滅公奉私」だとある評論家が若者の考え方を断じておったが、これが当たっているかどうかは別として、外見だけカッコいい若者では困る。

無気力などといわれないためにも若者の奮起を期待したい。

志田保

本町4丁目
本田慶治

まず人間の精神 教育から徹底を

歩道を平気で走っている自転車さえ見られます。それでは歩行者はどこを歩けばよいのでしょう。もう少し考えてもらいたいものです。

近年、自動車産業はいちじるしい発達をとげ、生産は最近でこそ増加率が鈍化したものの、それでも年々確実に増加の一途をたどっている。それに応じて、道路の改善、事故発生地区の検問強化などを行なっているが、いぜん事故減少の決め手にはなっていない。車は、人が乗って動かすのであるから「人災」である。まず第一に、人間の精神教育から行なわなければならない。

市街地付近の交通規制を考える

下興野町
沢田栄二

市街地付近の歩道追い越し禁止区域の設定等を考えます。また、警察当局と運転者、そして運転者同志の関係をもっと親しいものにして行きたいと期待します。免許証取得後は、野放しの感じもします。警察は、法によってのみ取り締まり、運転者の中に警察に対する不信感がかなり見受けられます。警察官をやりこめて自慢話しなどの話しは一例と思います。「温情あるきびしい指導と取り締まり」には、何んとしても止むを得ないものと思われますが……。

狭い公道には駐車をしないこと

新津市に帰ってくると道路の狭いことを痛切に感じさせられます。狭い道路をスムースに、しかも安全に人や車が通行するには、公道に駐車しないことだと思います。本町や新町に近い能代川を工夫整備し、市営の大駐車場を用意したら、歩行者もドライバーも交通事故の危険から相当解放されるのではないでしょうか。さらに余裕のある道路には、歩道の確保も可能なようなところもでてくると思います。

新金沢町
大矢宏

ボリュームある肉料理専門店
とんかつ すき焼 箱岩
新津市本町3 TEL(2)4516

掛軸仕立・襖張り替・室内装飾一式
鈴木表具店
新津市本町三丁目18—4 TEL(2)1986